



生野中学校区 学校設置協議会準備会 ニュース

子どもたちのためにできること



平成30年4月11日発行 第4号

みんなで話し合っています

生野区では、教育環境の充実、子育て環境の充実、災害に強いまちづくりを通じて、まちの活性化をめざす「生野区西部地域学校再編整備計画」を推進しており、議論のたたき台となる「生野中学校区学校整備計画（素案）」をもとに保護者・地域住民のみなさんと具体的な意見交換を進めています。

生野中学校区 学校設置協議会準備会（以下、「準備会」といいます）（第4回、平成30年3月22日（木））が開催されましたので、議論内容をご報告いたします。

第4回準備会で意見交換されたテーマ

- 学校再編前の取組
- 通学路の安全対策



学校再編前の取組

事務局からの説明内容

- ✓ 新小学校が開校するまでに生野小学校に児童を集めてはどうかというご意見をいただいていたことを踏まえ、現在の教室の状況を確認しました。
4小学校の児童が集まると、6学年で18学級の規模ですが、現在の生野小学校では普通教室が不足します。今ある特別教室（図工室、多目的室等）を普通教室に変えれば18教室は確保できますが、改修工事等も必要です。例えば、西生野小学校だけ、舍利寺小学校だけに移るという形では収容可能ですが、4小学校あるなかで2校のみということも現実的には難しさがあります。
- ✓ 前回に提示した校舎配置イメージに基づいた詳細な工事のスケジュールを検討した結果、最短でも平成32年～33年1学期ごろまで新校舎の建設、33年2学期から校舎の解体工事に入り、終了が34年4月に食い込むということがわかりました。普通教室の改修が間に合わないとなると最大6教室が不足するので、学校と相談しながら、例えば特別教室を小中学校で共用することも含め、工期の短縮を検討しています。
（※上記は、最短のスケジュールであり、平成34年の開校が決定したわけではありません。）

学校再編前の取組

事務局からの説明内容

- ✓ 小学校間の連携については、集団活動の楽しさを知る・多様な価値観に触れるという内容を提案しています。
平成30年度から始めるとしていた英語の取組については、生野中学校区版English Dayを予定しています。
- ✓ 英語の取組に加え、授業単位の交流を平成30年度から可能な内容から開始します。再編に向けた取組とは切り離し、多人数で活動をする・集団で活動する場を可能な限り保証することを目的に、2校～4校の規模の連携に来年度から取り組んでいきます。
- ✓ 行事単位の取組については、効率的に行事を実施するとともに、再編に向けた取組に繋げていくことも目的とします。また、学習を伴う林間学校のようなものについて、行先等をすり合わせ、実際に開校となった際にはすでに方向性ができあがっているような形をめざします。

小小連携の推進（案）（集団活動の楽しさを知る、多様な価値観に触れる）



※上記は、最短のスケジュールであり、平成34年の開校が決定したわけではありません。

学校再編前の取組についてのご意見

【★】いただいたご意見等

- ★ 生野中学校区の小規模化はかなり以前より言われてきて、前からわかっていたことであるのに、今になって出てくる対応策が不十分に感じられる。もっと大きな取組を示せないで「これしかないのか」と思われるし、それがなければ工事の日程が提示されれば西生野小学校地ありきにとられてしまう。さらに具体的な取組内容が必要だ。
- ★ 西生野小学校地ありきで進むことは否定しないが、今の内容では再編を進めていく強い意志が感じられない。「区が責任をもって子どもたちをみていくので、西生野小学校地で進めます」というくらいのスタンスで進めてもらえれば、そもそも準備会で人が集まらないで済む話である。

準備会という場を通して、ご意見をいただきたいと考えています。大きな取組を示せていませんが、取組を進めるにあたって、学校現場の状況は無視できないという面もあります。今回提示した内容は、小中一貫教育に向けてどのように大きな取組を行うかではなく、今の子どもたちが小規模の環境のなかで教育を受ける課題を解消するためのものです。

行政

- ★ 平成30年度にやると書いている取組は英語だけ。31年度以降もっと取組が見えにくくなり、気が付けば他には何もしていなかったという状況にならないか危惧している。

学校間で連携をとって、英語だけという形にはしません。平成30年度についても、授業単位の交流は学年同士で年に最低2回は実施していく計画としています。

行政

- ★ 具体的な取組案を考えることに難しさはないのか？現場サイドでできないとなったらどうするのか？

学校長とも調整をしながら、必ず4小学校で集まるという形をとらなければ、実施が可能ではないかとなった内容を提示しています。一気に進めるということは難しいですが、例えば体育の球技大会を合同ですといった授業単位の交流はしやすいのではと考えています。内容が決定したもののから順次準備会に報告し、実施していきます。

行政

通学路の安全対策

事務局からの説明内容

- ✓ 事務局より、以下の点を踏まえ、新たな通学路案をご提案しました。
 - 林寺小学校、生野小学校、舍利寺小学校、西生野小学校の現在の通学路
 - 地域で見守りをいただいている場所と、その場所ごとの見守り隊の人数
 - 危険があると考えられる箇所
 - 歩道の有無 等
- ✓ 通学路において、危険と想定される箇所への対策について、以下の手法が検討されます。
 - 交通安全上：信号機の設置、横断歩道の設置、ガードレール・ガードパイプの設置、車止めポスト、路面に通学路であることを示すグリーンラインを引く、消えかけている白いラインを塗りなおす等
 - 防 犯 上：防犯カメラの設置
- ✓ 通学路の安全対策のスケジュールとしては、現在の通学路と重なっている箇所については、対策を検討したうえで関係機関・警察・建設局と調整し、できる限り速やかな対応を行います。新たに通学路となる箇所については、新学校の開校が決定し次第、その開校の前年度に対策をとるという形で検討します。

- ★ 生野小学校の北側を東西に走る道路（河堀口舎利寺線）の生野東4丁目1番北側は、今後団地が建つので10m幅の道路ができ、一方通行から交互通行になる予定と聞いている。バスが通るかも知れないという話も聞くがそのような道を通って問題はないのか。また、生野小学校から西に向かう道路は本来、時間帯規制が入っているが、実際は相当な数の車が抜け道として使っている。

10m幅の道路については状況を確認します。生野小学校の北面の道路の、西に向かう途中で細くなる部分については、通行せずに北上するという形を想定しています。

行政

- ★ 安全面の確保はどのような取組が可能か。

防犯カメラは台数を増やせるということか。また、他の手立ては何か考えられるか。

信号やガードレールの設置には物理的な制約があり、関係機関と調整が必要です。防犯上の観点では、防犯カメラの設置が考えられ、台数を増やすことも検討しています。

行政

その他の取組についてもご意見をいただけると調整に入ることとは可能です。

- ★ 街灯を増やすことはできるか。

街灯には道路照明灯と街路防犯灯の2種類があります。道路照明灯については、設置基準があり、今以上に増やすことはできないと思われませんが、街路防犯灯については、設置が可能であり、設置にあたっては市から補助が出ます。ランニングコストについては町会の負担となります。

行政

- ★ 低学年の事故率は高学年に比べかなり高いという話も聞く。低学年の下校時の安全確保のあり方を特に考える必要があるのではないか。

例えば、新学校での児童いきいき放課後事業（以下、いきいき）が終わってから、各地域の小学校跡地まで児童を連れて帰ってくるという形も考えられます。下校が遅くなるということにご不安があれば他の内容も検討します。

行政

- ★ 通学路の安全確保については話し出すときりがない。意見は出すし、アドバイスもできると思うので、一度「このルートに設定して、安全対策はこうします」「この範囲の見守り隊は〇〇地域でお願いしたい」、下校時の安全確保、いきいきのあり方といった内容について案を示してほしい。

まず、行政側で「安全確保の対策（案）」を提示します。見守り隊については、今の段階では、あくまでお願いしたい案ということで提案します。

行政

第4回での確認事項

- ✓ 次回の「準備会」は、4月18日（水）19時より、生野区役所にて実施する。
- ✓ 次回のテーマは「地域・PTAと連携した学校運営」
- ✓ 次回のオブザーバーは、4小学校区それぞれ3名を定員とし計12名までとする。
- ✓ 事務局は、通学路の安全確保について「安全確保の対策（案）」を整理し、改めて準備会でお示しする。



学校再編に関する情報は生野区ホームページでもご覧いただけます。

生野区西部地域学校再編の動き

検索



発行

生野中学校区
学校設置協議会準備会 事務局
(生野区役所 地域まちづくり課)
電話: 06-6715-9920